

倉敷青果荷受組合

カット野菜拡大で活用

経産省「IT経営中小百選」に選ばれる

成長した一方、リードタータイムの短縮が大きな課題となつていた。

野菜事業の契約社数は13年度と15年度の対比で約30%超増加し、店舗数で約3倍、売上高で約40%導入前の12年度对比では約50%の大増収となった。

卸売事業でも、見積書作成、送り状発行、WebEDIデータと売上データとの照合システムを導入。入力や手動FAによる実施している。

これによつて、カット

食品市場新聞

発行所
(有)食品市場新聞社

〒652-0844
神戸市兵庫区中之島1丁目1-4
電話(078)681-1046番
FAX(078)681-3824番
<http://www.sssnews.co.jp>
購読料 (1ヶ月) 4000円

Xのタイムロス、ミス削減によりリードタイムを短縮し、1カ月あたり約40万円の人件費を削減した。

岡山県の民営青果市場、倉敷青果荷受組合(富本尚作理事長)が、経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選」に選ばれた。カット野菜工場の生産管理システムなどを導入して顧客満足度の向上につなげ、過去5年間の全事業部合計売上高が約40%伸びた実績が評価された。

同組合は98年、カット野菜事業に参入。単身世帯の増加や女性の社会進出に伴い新たな収益源に



都内で開催された発表会

し、現在まで21社とデータ交換による受注連携を実施している。

これによつて、カット